

# SEARAY 310 SLX

全長 9.60m 全幅 3.10m 乾燥重量 4,893kg 燃料容量 492L  
 清水容量 90L 定員10名 航行区域 平水区域 最高出力 300hp×2基  
 搭載エンジン マークルーザー 6.2L MPI AX DTS/BⅢ×2基  
 最高速度:50マイル/約80キロ。燃費:4500rpm-122L \*ENG2基

**本体価格 ¥41,314,000 (税別)**

※オプション等の詳細はお問合せ下さい。



## Boat Impression

# SEARAY 310 SLX



取材協力 **アインズ** AUVシフト株式会社 大阪府堺市堺区神南辺町四丁120-2 TEL 072-224-4040 URL <http://www.eins-a.jp/>  
**マリナ** マリナシフトロータリーピア88 滋賀県大津市苗鹿3-12-1 TEL 077-579-5554 URL <http://www.rotary-pier88.com>



シーレイ310SLXの走りの爽快感は抜群で、よりスポーティーな走りを楽しめる仕様となっている。水面での安定性も高く、高速走行時でも安心して乗ることができた。空中排気と水中排気の切り替えもでき、空中排気の際に排気音を響かせながら走っていると、いつもより気持ちが高ぶってくる。

迫力ある排気音を響かせながら、豪快なライディングを楽しませてくれるボート。それが今回ご紹介するシーレイ310SLXだ。300馬力のエンジンを2基搭載したこのモデルは、一度水面に浮かべられると気持ちの良い加速で、一気にトップスピードに到達する。最高速度約80キロの走りはまさに風を切るという表現がピッタリだ。このモデルをサンダーサーシリーズと比較すると大きく違うところがある。それは、キャビンを有していないところだ。船内のレイアウトはコックピットスペースを中心にパウ～スターンまで広く作られており、どこに居ても快適な乗り味が楽しめてしまう。そのため、大人数でクルージングやトーン

グを楽しむのに最適なモデルであると言える。船内全てが快適な空間となっている事で、一体感を感じながら長時間のマリンプレイを楽しめるのだ。また、水中と空中で排気の切り替えが可能となっており、空中排気にした時の迫力抜群の排気音は、操船時の爽快感を倍増させると言っても過言ではない。キャビン付きのボートでラグジュアリーにポートステイを楽しむこともアリだが、キャビンが必要ないという方には圧倒的にこちらの方が遊びの幅と快適性は勝るのではないだろうか。シーレイ310SLXは大勢の大人が快適に長い時間遊べちゃう実に魅力的な一艇であった。是非この乗り味を試して欲しいと思う。



パウにはフィラークッションを配置する事も可能。チークテーブルは用途に応じて中央とサイドの2箇所に設置できる。パウの収納能力も非常に高い。

操船しやすいスペースを確保したヘルムステーションには電子表示のパネルが付いており、とても機能的だ。快適なコンパニオンシートの前にはトイレを設置。

ウェットバーにはシンクや蛇口の他に冷蔵庫を完備。コックピット面積も広い。ハードトップからは延長サンシェードも伸びる。エンジンは300hpの2基掛けだ。

コックピット後方にはサンパッドやフリップアップ式の後向きラウンジシートも付いている。夕暮れには青色LEDがコックピットを包み込み、船内のムードを高める。



# SEARAY 280 SLX

全長 8.69m 全幅 2.74m 乾燥重量 3,175kg 燃料容量 341L  
 清水容量 76L 定員10名 航行区域 平水区域 最高出力 380hp  
 搭載エンジン マークルーザー 8.2 MPI ECT DTS/BⅢ  
 最高速度:50マイル/約80キロ。燃費:4000rpm-78L \*ENG1基

**本体価格 ¥27,368,000 (税別)**

※オプション等の詳細はお問合せ下さい。



## Boat Impression

# SEARAY 280 SLX



シーレイ280SLX。こちらレスポンスの高い乗り味が特徴的で、とにかく良く曲がり良く走る。乗っていて不自由を感じさせない柔軟な乗り心地は是非多くの人に味わってほしいポイントだ。空中排気と水中排気の切り替えも面白いポイントで、豪快に排気音を轟かせながら水面を駆け抜けていく躍動感は堪らない。

シーレイ310SLXに続いてご紹介するのが、シーレイ280SLXだ。こちらのボートは310SLXを少しコンパクトにしたレイアウトではあるが、走りのパフォーマンスは決して引けを取る事はない。280SLXもスピード感溢れる走り、高い安定性を持っており、極上の乗り味を体感させてくれるモデルである事は間違いない。380hpのエンジンを1基搭載したボートは310SLX同様に約80キロの最高速度を計測し、燃費面まで含めると非常に高いパフォーマンスを発揮している。このボートもキャビン有していないモデルで、休日にとことんマリンプレイを楽しみたい人にお勧めのモデルだ。各エリアのシート裏に確保され

た収納はマリン用品はもちろん、大勢のゲストの荷物も不自由なく収納できるキャパシティを持っており、一度水面に出たら、しばらくはマリナーに戻りたくなくなるような楽しく開放的な時間を過ごして頂けるだろう。また、効率的なシートレイアウトと快適性の高いシートは走行中でもゆったりと寛げて、乗っていても本当に疲れない。クルージングで沖に出た際には、空中排気に切り替えれば仲間とともに豪快な排気音と乗り味を堪能して頂ける事だろう。280SLXは310SLX同様に高い快適性を持ちつつ、パワフルな走りを楽しめる極上のボートである事に疑いの余地はないのだ。この2艇、乗り比べると更に面白い。



パウにはフィラークッションやテーブルを配置でき、遊び方に応じて柔軟にスタイルを変えられる。ピミニットップ付きの電動タワーは日差しをしっかりと遮ってくれる。

ヘルムステーションでは必要な数値情報はデジタルで確認する事ができる。コンビニオンシートも機能性が高い。トイレは個室になっており、プライバシーも確保。

チューブ用の空気入れやトローイングフックがあり、ウェイクボードも堪能できそうである。収納力も高く、コックピットスペースを広くスマートに使えそう。

エンジンは380hpを1基掛け。トランサムシートは手前に背もたれを出す事も可能で、シート下は収納になっている。フラットにして横になると、ゆったりと寛げる。